

仙台市環境審議会 第3回「仙台市地球温暖化対策推進計画」改定検討部会
議事要旨

日時 令和5年7月5日(水) 15時00分～17時00分

場所 仙台市役所二日町第二仮庁舎 環境局2階会議室

I 次第

1 開会

2 議事

(1) 仙台市地球温暖化対策推進計画中間案(素案)について

(2) その他

3 閉会

II 出席委員数

出席 5名

議事要旨

■議事要旨

事務局	「議事」に入る。議事進行については、「仙台市環境審議会の組織及び運営に関する規則」第5条第1項に基づき、駒井部会長にお願いする。
議長(駒井部会長)	次に、会議の公開と議事録の署名について確認させていただく。 会議の公開については、環境審議会の運用にならない、本部会においても、個人のプライバシーに関する事など、非公開の必要のある場合以外は、原則として会議を公開することとしたいと思うので、皆さまよろしく願います。 次に議事録の署名については、こちらも環境審議会の運用にならない、部会長と出席委員1名の署名をもって、正式な議事録とするということにしたい。今回は、菅澤委員にお願いする。
菅澤敬子委員	了承した。
議長(駒井部会長)	それでは、議事に入る。 議事(1)事務局より説明をお願いする。
事務局	(資料1、資料2に基づき、説明)
議長(駒井部会長)	資料1はボリュームがあるので、第1章から第3章までと、第4章から第5章までとに分けて意見を伺いたいと思う。
佃悠委員	42ページに新しく追加された3-3 施策の実施目標について、前後の項目との関係性がよくわからず、唐突感がある。この目標は、温室効果ガス削減目標の試算と直接関係しているのか。

事務局	施策の実施目標は、国の法改正により新たに策定が義務付けられたものであり、削減目標の試算と直接関係しているものではない。
佃悠委員	同じ“目標”という言葉で、温室効果ガス削減目標と関係しているように誤解を受ける。直接関係していないのであれば、記載箇所を変えるか、冒頭に説明を追記するなどした方が良い。
事務局	構成や説明の仕方について検討したい。
議長（駒井部会長）	21 ページの再エネ導入推移に係るグラフについて、2022 年度の数字はいつ頃確定するのか。
事務局	2022 年度は取りまとめ中であり、最終的には 2022 年度の数字を反映した形でお示ししたいと考えている。
佃悠委員	50, 51 ページの②-ア-2 と②-ア-13 の施策について、重複しているように見える。前者は設備のこと、後者は設置場所のことを言いたいと思われるので、違いが分かるように表現を見直した方が良い。
近藤祐一郎委員	42 ページの「表 3-2 再生可能エネルギーの発電設備導入量の実績・目標」だが、風力発電のところだけ少数点以下が表示されており、違和感がある。
事務局	風力発電についてはこれまでに 6 kW の導入実績があり、微量だが実績があることを表現するため、このような標記としていた。
佃悠委員	この表は必要か。21 ページに再エネの種類ごとに、詳細な導入実績が記載されている。
事務局	表 3-2 は、あくまで目標を記載したものである。先ほどご指摘のあった、施策の実施目標の記載方法を検討する中で、併せて本表の記載についても検討したい。
佃悠委員	75 ページの新たに追加された部門別の主な削減見込量について、前のページに、国の施策による削減量と本市独自の施策による削減量を明記しているのであれば、こちらも各取り組みについて国・市のいずれが行うのか記載してある方がわかりやすいのではないかと。 また、表の見出しに「2013 年度との比較」と記載されているが、例えば ZEB 基準の水準の建築物の割合は、2013 年度との比較になっていない。このような項目が複数あるので記載を修正した方が良い。
事務局	ご指摘を踏まえ、検討したい。
佃悠委員	温室効果ガス削減目標について、現行の計画も、当時の国の目標を上回る目標値を定めていたことは、きちんと記載しておいた方が良いと思う。
議長（駒井部会長）	45 ページの施策体系では、緩和策と適応策の 2 本柱となっているが、今回は適応策の見直しはされていないということでしょうか。
事務局	適応策については、時点修正を行っているが、今回は、削減目標の見直し

	に係る改定であるため、緩和策を中心に見直しを行っている。
近藤祐一郎委員	資料1がパブリックコメントの資料として公開されるということによいか。
事務局	資料1について、本日のご意見や8月の環境審議会でのご議論等を踏まえ修正を行い、最終的に中間案として公開する。また概要版や説明動画を作成するなどしてわかりやすく内容をお知らせする予定である。
事務局	杜の都環境プランについてもパブリックコメントを行う予定であり、2つの計画についてパブリックコメントを実施することになる。
石川宣子委員	一般の人が本編を全て見るのは難しい。概要版や、動画による説明があるということをお知らせして、目に留めてもらうことが必要である。若い方に興味を持ってもらうことが大切だと思う。わかりやすい表現で説明していただきたい。
近藤祐一郎委員	計画の変わった箇所が一目でわかるダイジェスト版があると良い。
事務局	概要版に見直しのポイントを記載するなど、書き方を工夫したい。
近藤祐一郎委員	資料1に多くの図が記載されているが、出典に引用元の名称しか記載されていない。これで問題ないのか。大学の論文などでは、引用元のURLや閲覧日も記載している。
事務局	本市の他の計画での記載方法に合わせているほか、基本的には引用元の掲載ルールに則って記載している。
菅澤敬子委員	記載されている各施策について、市民向けなのか、事業者向けなのかがわかりづらい。分けて記載されている部分があると、市民や事業者にとっても理解しやすく、啓発にも役に立つのではないか。
事務局	杜の都環境プランの第6章では「市民に期待される役割と行動の指針」「事業者に期待される役割と行動の指針」など主体別の取り組みの指針を記載している。こちらは概要版にも記載しており、こちらも活用しながら普及啓発を行っている。
議長（駒井部長）	2030年度の温室効果ガス削減目標として、試算①では53.7%、試算②では54.8%という数字が出てきた。この目標についてはこれまで積み上げにより積算してきたものである。試算②は挑戦的な部分もあるが、非現実的なものではないと考えており、試算②をベースにした目標設定を考えていただくことを提案したいが、いかがか。
佃悠委員	試算②は挑戦的ではあるが、現実的なものであると思う。現実的な線のできるだけ高い目標を定めるのは良いのではないか。
菅澤敬子委員	佃委員と同意見である。

議長（駒井部 会長）	それでは、そのようにお願いしたい。 続いて、資料3について事務局より説明をお願いします。
事務局	（資料3に基づき、説明）
議長（駒井部 会長）	杜の都環境プランの改定案について意見を伺いたいと思う。
佃悠委員	地球温暖化対策推進計画に記載されている施策で、杜の都環境プランには記載されていないものがあるが、どのような基準で選定しているのか。 また、施策体系の項目名が微妙に違うが、どのような意図で記載しているのか。
事務局	杜の都環境プランは地球温暖化対策推進計画を包含する上位計画であり、表現を一部簡素化するなどしてより全体を包含できるような形で記載しているため、地球温暖化対策推進計画の施策をそのまま記載しているものではない。杜の都環境プランに載っていない細かい部分については地球温暖化対策推進計画を見ていただくというような形で整理している。
佃悠委員	承知した。施策体系については、両計画で全く同じ施策を記載しているのにかかわらず、項目名が違うと混乱を招くので、揃えられるところは揃えた方が良いのではないか。
事務局	ご指摘を踏まえ、検討したい。
議長（駒井部 会長）	電動車等にはどのような車が含まれるのか。
事務局	電動車は電気自動車・ハイブリッド車・プラグインハイブリッド車であり、“等”に含まれるのは水素自動車を想定している。
議長（駒井部 会長）	製品プラスチックの一括回収・リサイクルを実施しているのは仙台市だけなのか。
事務局	仙台市だけというわけではないが、本市が他の政令市に先駆けて今年度より全市域で実施している。
議長（駒井部 会長）	続いて、資料4について事務局より説明をお願いします。
事務局	（資料4に基づき、説明）
議長（駒井部 会長）	いただいた報告について質問等があればお願いします。
議長（駒井部 会長）	発言がなければ、議事については以上とする。 事務局から連絡事項はあるか。
事務局	本日いただいたご意見を基に、環境審議会での報告に向け中間案の作成を進めていく。本日のご意見を踏まえた資料の修正については、部会長と調整させていただくということによろしいか。

各部会員	(了承)
議長(駒井部 会長)	それでは、以上で本日の検討部会の議事を全て終了する。 円滑なご議論をいただき感謝する。

令和 5 年 9 月 14 日

仙台市環境審議会「仙台市地球温暖化対策推進計画」改定検討部会 部会長

氏名 駒井 武

仙台市環境審議会「仙台市地球温暖化対策推進計画」改定検討部会 委員

氏名 菅澤 敬子